



看護科研修「看護倫理」

看護科（研修教育担当看護師長）草深亜紀子



今年度より福祉局・保健医療局・東京都立病院機構 職種職務専門研修「ジェネラリストコース選択性研修」として、看護職員が横断的に研修参加できる公開講座が始まりました。

都立直営病院（府中療育センター・北部療育医療センター）と都立病院機構が相互に公開講座を設定し、興味のある分野の研修を幅広い選択肢から受講できるシステムです。当院は「看護倫理」を公開講座に指定し、当院看護科職員13名と他施設看護師3名と一緒に学ぶ機会となりました。

10月30日岡山県にある旭川荘療育・医療センターから小児看護専門看護師の仁宮真紀先生を講師にお迎えし『倫理的課題への向き合い方を考えよう～重症児ケアの「わざを伝える」～』をテーマに講義、グループディスカッションを行いました。仁宮先生からは旭川荘での看護だけでなく、過去に勤務された療育施設での経験などもお話をいただき、重症心身障害児者との関わりを改めて考える時間になりました。さらに普段できない院外の方々と交流し、多角的な視点で意見交換ができたので、研修生にとって貴重な経験となっていました。

看護には「経験知」とも言われる「わざ」があります。言語化するのが難しく、職場で伝え合っていく感覚的で、コツのようなものです。看護倫理においても、日頃感じている「もやもや」を同じように伝え合っていくことで職場の倫理観が醸成していくことを学習しました。



研修のテーマになっている『「わざ」を伝える』と仁宮先生が投稿されている書籍

〒183-8553
東京都府中市武蔵台2-9-2
東京都立府中療育センター
電話 042(323)5115
FAX 042(322)6207

--*ホームページもご覧下さい*-*-*
<http://www.fukushi.metro.tokyo.jp/fuchuryo/index.html>

ひだまり

都立府中療育センター新聞 第575号 発行日 令和7年11月30日

第17回 府中療育センター祭特集



府中療育センター祭実行委員会事務局

10月24日（金）と25日（土）は「第17回府中療育センター祭（以下「センター祭」）」のイベント日でした。金曜日のお昼に雨が降り、土曜日は朝から雨。天候に振り回された2日間となってしまいましたが、肌寒さや雨に負けない熱いお祭となりましたので、報告させていただきます！

イベントに先駆けて始まる全体制作「作ろうDream Kart」と、スタンプラリー「行こう プリンセスのもとへ」そして、イベント当日の「感覚刺激コーナー」には、共通のテーマ「SUPER FUCHU WORLD」が掲げられ、それぞれ9月24日（水）、10月20日（月）にスタート。10月22日（水）には各部署の展示も出揃い、まもなくイベント日を迎えることとなりました。



全体制作

初日は、昨年に引き続き屋外広場を中心に賑やかに実施しました。院内から屋外広場に出ると、右手にステージと利用者の手型で作った虹とメッセージで飾られた全体制作の『Dream Kart』、左手からは広場をぐるりと囲むようにテントが並びました。



ひとみ&Friends

ステージでは世界腹話術大会『2025VentHavenConVENTion』People's Choice Award 1位の「ひとみ&Friends」さんの公演が行われ、巧みな腹話術とうつとりするような歌声が響きました。

14張のテントには「摂食嚥下ワーキンググループ」、「食べ物コーナー」、「府中刑務所」さん、「ギャロップ」さん、「ワークセンターこむたん」さん、「食彩さしせせそ」さん、「ICT」、「緩和ケア委員会」、「ゲームコーナー」、「府中けやきの森学園」さん、「武蔵台学園」さんと、様々な団体がそれぞれ自慢の商品や出し物を用意してくれました。



ブース企画

ブース企画には5団体の応募がありました。府中療育センターならではの企画として「摂食嚥下ワーキンググループ」が炭酸飲料のトロミ体験、「ICT」は手指衛生クイズ、「緩和ケア委員会」はシンボルのオレンジ色の風船を配って緩和ケアのアピールを行いました。また金曜日限定のブースは「リハビリテーション科」と「府中けやきの森学園くぬぎ分教室」さんの初参加の2団体。リハビリテーション科は『きて・みて・さわって♡感じてみよう』をテーマに、リハビリテーションで使っている機器を紹介していました。くぬぎ分教室の生徒さん達は『くじびき・ワッショイ！！～ハッピーチャンス～』として、フォーチュンボックスと、大当たりには豪華景品で歓迎してくれました。

2、3面へ続く



☆ 第17回 府中療育センター祭特集 ☆



2日目は朝からあいにくの雨で、室内開催となりました。実行委員がフル回転で準備し、無事に予定時間にスタート。土曜日限定で販売に来てくれたのは、昨年度からご縁のできた「ともしひ工房」さんです。焼き菓子やパン、手作り品をご用意いただきました。



力作ぞろいの展示

廊下の壁面に並ぶ、各部署渾身の展示作品を楽しみながら多目的ホールに向かうと、ステージでは、午前中に『府中けやきの森学園和太鼓部』さんの廊下まで鳴り響く力強い演奏と、長年お世話になっているボランティアの皆さんに日ごろの感謝の気持ちをお伝えする『ボランティア表彰』が行われました。

午後には『GOLD CIRCUS』さんのパフォーマンスで笑ったり固唾を呑んだり目を見張ったりと、楽しいひと時を過ごしました。また、今年も2C病棟がDVDで日頃の活動や行事の様子を発信してくれました。

実行委員会で用意したのは、ステージショーのほかに「ゲームコーナー」「食べ物コーナー」と「感覚刺激コーナー」です。

ゲームコーナーは、昨年度も好評だった『伝説の海賊』とお皿に山盛りのおむすびを落とさずに運べた数を競う『おむすびころりん』ゲームです。歌や音楽が鳴っている間におむすびをゴールさせるのに、慎重な方やダイナミックな方、歌に気を取られ楽しくなってしまう方等々それぞれの個性が表れていました。伝説の黒ひげは病棟にも出張して、体調等で病棟



ゲームコーナー

から出るのが難しい利用者に、センター祭の楽しい雰囲気をお届けしました。

食べ物コーナーは、テントを『サーカス』のイメージに装飾し、様々なお菓子やデザート、飲み物を配りました。今年度は3本限定で「ノンアルコール飲料」が復活しました。早い者勝ちであきらめた方がいたようです。来年度をお楽しみに…？！

そして感覚刺激コーナーは、先述したブース企画と並び、センターならではと言えるでしょう。今回は『Welcome Fuchu World』として、レンガを触ったり、ブラックライトでコインを探したり、虹色わたあめの香りを楽しんだり、はてなブロックの音を聞いたり、好きなキャラクターになりきって写真撮影をしたりと、さまざまな感覚に働きかける仕掛けを楽しんでいただけたかと思います。



感覚刺激コーナー



ブース企画



また今年は、入所・通所合わせて13名の利用者が、喜寿・古希・還暦・成人の節目を迎えるました。恒例の「人生の節目を祝う会」はセンター祭週間に開催され、院長が各病棟を訪問し、記念品を贈ってお祝いしました。これからも、どうぞお元気で楽しい毎日をお過ごしください♪

今回は新センターになって初めて、入所・通所・通園・外来と、府中療育センターの全ての利用者と家族が一緒に参加できるお祭でした。また入所利用者の家族には面会時間の制限がなく、利用者と一緒に商品を選んだり、ゲームやいろいろな体験、ステージショーを楽しんだりして、いつもより時間を気にせずにゆっくりしていただけたのではないでしょうか。

ご不便をおかけしたことや、様々な不手際もあったかと思いますが、少しでも楽しいひと時を過ごしていただけていたなら幸いです。センター祭にご参加、ご協力いただいたすべての皆さんに、心より感謝申し上げます。本当にありがとうございました。



QC活動院内発表会

事務室庶務担当

1月4日（月曜日）、テーマ別改善運動院内発表会が多目的ホールで開催されました。院内から5サークルが参加し、利用者の療育生活向上や職場環境の整備など、職場で抱えている身近な問題について、改善に向けた様々な取組の発表がありました。

清水院長からは、『どのサークルも職場の業務改善のためいろいろな工夫を行い、一生懸命取り組んでいた。最優秀賞を受賞したサークルは、府中療育センターの特徴を打ち出して合同発表会に臨んでほしい。職員のみなさんには、身近な問題について改善する取組を引き続き行ってほしい。』との講評がありました。

最優秀賞は、入浴介助の際の業務改善に取り組んだ3B病棟が受賞し、令和8年1月28日に開催される都立病院等との合同発表会に、センター代表として出場します。

